

第3回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：平成29年10月5日（木）

14時30分～16時30分

場所：逗子市役所5階 第4会議室

1 開会

事務局より、逗子海水浴場の運営に関する検討会（以下「検討会」という。）は傍聴できることと、報道機関の頭撮りについて説明した。

2 議題

(1) 平成29年度逗子海水浴場（以下「海水浴場」という。）の運営報告

事務局から海水浴場の運営について資料「平成29年度逗子海水浴場 報告書」のとおり説明した後、出席者から海水浴場の運営に関する所感が述べられた。以下、概要。

■利用者に関する内容

（海水浴場の風紀）

- 全体的に穏やかな海水浴場だったと感じた。
- ファミリー層が増え、若い世代も多く利用する海水浴場になった。
- 海岸東側は海の家が派手で賑やかな雰囲気、西側はのんびり食事ができる雰囲気。子どもたちはあまり東側へは行かないと聞いたことがある。
- マナーアップ警備員や監視員など関係者の目があるからか、海水浴シーズンがはじまってからの方が、シーズン前後より治安が良いと感じた。
- 抑止力のために、マナーアップ警備員のほかに警察官の常駐は考えられないか。

（ルールを守らない利用者）

- 警備員の言うことを聞かず、飲酒や音楽を繰り返し違反し、ルールを守らない人が目立ってきている。
- 警備員の注意が甘い。はじめからあきらめているように見える。
- 警備員は違反者に注意した後、注意件数をメモしているだけで意味がないと感じた。

（入れ墨・タトゥーの露出）

- 入れ墨がある暴力団関係者と思われる人が昨年より多いと感じた。
- 外国人の入れ墨・タトゥーの露出が目立っていたが、やはり日本とは違いファッション感覚なのだと思う。

- 露出を注意されても全く聞き入れず、はいはいという感じ。隠す気がない人が多い。
- 外国人は、民族や宗教的な入れ墨・タトゥーもあるので取り扱いが難しいと思う。

(外国人)

- 欧米・南米以外にもロシア・インド・中国・東南アジア等様々な国の人がきていた。
- 外国人は海水浴をせず、食事のためだけに海の家を訪れるケースが多い。
- 外国人全員のマナーが悪いわけではないが、マナーを守らない人もいる。
- 外国人へのルール・マナーを周知する対策強化が必要だと感じた。
- 米軍人が起こしてしまった事件は残念だった。米軍関係者はパトロールに参加しないなら、全員来てほしくない。
- 海水浴シーズン外は特に外国人のマナーが無法地帯となっていると感じる。

(水上オートバイ)

- 昨年より水上オートバイの騒音が大きくなるさかった（桜山方面）。
- 改造した水上オートバイが河口付近で音を鳴らしてうるさい。実態として酷い。
- 海岸の近く（134号線沿い）に住んでいるが、騒音は昨年より大幅に改善された。
- 新宿自治会員も昨年より騒音は軽減されたという意見が多かった。
- 飲酒をして水上オートバイで市外から来る人は、特にマナーが悪いと感じた。
- 海・浜ルールは、改訂を行って1年目なのでこれからも周知を続けることで定着を図っていき、海上保安部等とも連携を行って水上オートバイの騒音等に対応すべき。
- 危険な飲酒運転を防止するために、明らかに市外から水上オートバイで来たと思われる客には、海の家は酒を提供しない等の対策をとる必要があるのではないか。
- 片瀬のルールでは沿岸2kmまでは徐行で、漁組が協力してパトロールしていると聞いた。逗子も外から来る水上オートバイの対策をしてほしい。

(ごみ)

- かなりの頻度で海を歩いたが、海の家から出たごみはビニールシートでしっかりとおおってあったため、例年に比べるとカラスの被害は軽減されていた。
- 田越川河口に空き缶等のごみが捨てられておりイメージが悪い。

■海の家に関する内容

(海の家の営業時間)

- 海の家の営業時間が全日20時までとなり、当初心配だったが、各団体・市職員・組合員等のパトロールのおかげもあり、特に問題がなかったと思った。

(海の家音楽・イベント)

- 海の家音楽による騒音はなく、大幅に改善されていると感じる。
- パトロール員がいなくなったら音量を上げている店があるように思う。
- 海を家の音は浜にいると音量が大きいと感じることがあった。

(チェックリスト・イエローカード等ルール認識)

- 全体的にルールは守られていたと思う。

(海岸組合員によるマナーアップ警備員のパトロール同行)

- 東浜と西浜で分けてパトロールしていたが、それぞれの浜の状況を確認する必要があると感じた。

(その他)

- 東側では海を家の客引きによって通路がふさがることがあった。東側は特に新しい海を家の参入が多いので、組合が各店の状況を把握し、自主ルールをしっかりと伝えるべき。正式に組合としてのルールを明文化する等の対策をとってはどうか。
- 解体期間中、特定の海の家がごみを放置しており、臭いや景観の苦情があった。
- 特定の海の家が解体期間最終日まで作業が終わらず、海岸組合が手伝っているのを見た。余裕をもって安全に解体作業をするべきであり、それができない店は出店してほしくない。組合として、来年度の出店可否も含めてしっかりと対応してほしい。
- 海の家「オーシャンズ」が渚橋下に車を乗り入れており、逗子海水浴場事業者・利用者ルールにある、車の乗り入れルールの違反対象になるのではないかと。河川管理道路の管理者である県に確認してほしい。(【資料2】海の家「オーシャンズ」による2017年度逗子海水浴場事業者・利用者ルール違反について(要請)を用いての説明)

■逗子海水浴場の振興策の提案

(海水浴場の有料化)

- 逗子の財政も鑑み、来年も同様の期間で海水浴場を開くのであれば海岸の有料化(入浜料)を考えてもいいと思う。(【資料3】市民メンバーによる逗子海水浴場振興についての提案を用いての説明)
- 有料化は海水浴場だけでなく、市全体の経済効果等も勘案して、しっかりとシュミレーションして慎重に考えるべき。
- 海外の有料浜と違って、逗子海岸はプライベートビーチではない。法律的にも、物理的に難しいと思う。
- 市民優先を見分ける方法が難しい。確認をするにも設備投資、人的コストがかかりすぎる。

(その他)

- 海岸入り口通路の水たまり対策が必要だと思う。
- 次回、新宿自治会より海水浴場の報告が行われる予定。

(2) その他

事務局から今後の予定について次のとおり説明があった。

- 来年度の方向性を決めるため、市長に今年度の海水浴場の運営に関する検討会報告書を提出する。
 - 報告書は、次回以降の検討会において課題と対応策、振興案を議論し作成していく。
- 次回の開催について 11 月上旬から中旬で予定することとなった。

以上

出席者一覧

所属		職名	氏名	備考
公募の市民	市民メンバー		熊岡 寛展	
			熊倉 武夫	
			中尾 裕一	欠席
			藤村 宏	欠席
観光・商工団体	逗子市観光協会	事務局長	田代 朋子	
	逗子市商工会	副会長	三宅 譲	
	逗子市中央商店街連合会	会長	江原 浩	欠席
逗子海岸近隣 町内会・自治会	逗子市新宿自治会	副会長	福井 八洲雄	
	下桜山交友会	環境担当部長	菊池 伸介	代理出席 牛嶋 美代子
	逗子6丁目の会	会長	徳本 恒徳	欠席
	逗子7丁目東自治会	会長代行	菊池 俊一	
児童・青少年 関連団体	新宿地区青少年育成推進の会	会長	安重 宣子	
	逗子市民生委員児童委員協議会	主任児童委員	飯野 幸	
防犯団体	逗子市防犯協会	会長	和田 修芳	欠席
海岸にて活動する 事業者	逗子海岸営業協同組合	代表理事	菊池 千春	代理出席 栗津 比奈子
	逗子マリン連盟	理事	岡田 和夫	欠席
市職員	市民協働部	部長	若菜 克己	
その他市長が必要 があると認めた者	逗子サーフライセービングクラブ	代表	歌代 光雄	
	逗子30'sプロジェクト		田中 美乃里	欠席
	ずし60'sプロジェクト	代表	深澤 忠房	欠席

オブザーバー	神奈川県逗子警察署	地域課	前川 喜信	代理出席
	神奈川県横須賀三浦地域 県政総合センター	企画調整課	馬場 良太	欠席
	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	生活衛生部長兼 環境衛生課長	佐野 晃	
	神奈川県横須賀土木事務所	許認可指導課		欠席
	公益財団法人 かながわ海岸美化財団		高辻 宏行	

事務局

所 属	職 名	氏 名
市民協働部	次長	岩佐 正朗
経済観光課	経済観光係長	鈴木 仁
経済観光課	主事	楠元 仁
経済観光課	主事補	今野 仁介